

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期福山市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

広島県福山市

3 地域再生計画の区域

広島県福山市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は、2020年国勢調査によると460,930人、年齢3区分別にみると、15歳未満60,790人（全体に占める割合13.2%）、15から64歳266,560人（57.8%）、65歳以上133,580人（29.0%）となっている。国立社会保障・人口問題研究所の将来推計によると、2030年は433,829人、2040年は409,939人、2050年は383,669人と見込まれている。2020年度の人口を100としたとき、2050年は83.2%まで減少する試算となっている。高齢化率については、2020年は29.0%、2030年は31.1%、2040年は34.4%、2050年は36.5%と、高い水準のまま推移する見通しである。

合計特殊出生率は2023年1.46となっており、全国（1.20）や広島県（1.33）と比べて高い数値を維持しているが、2020年1.60、2021年1.53、2022年1.51と下降傾向が続いている。

自然動態については、自然減が継続し、出生数は直近5か年（2018年3,721人、2023年3,053人）で約600人減少しており、合計特殊出生率が下降傾向なことに加え、若い世代の女性の数が減少していることが出生数の減少に影響している。

社会動態については、2022年に男女ともに転出超過が大きく拡大し、2015年以降最も大きな転出超過となり、その後も転出超過が続いている。年代別では、15～29歳の転出超過が最も大きく、若者の転出超過が大きくなっており、男女別では特に女性の転出超過が継続している。

人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域

産業の衰退、コミュニティの維持が困難になるなど、市民生活や地域経済への様々な影響が懸念される。

これらの課題について、今後は、少子化の流れを緩やかにするため、企業と連携した働き方改革の推進など、結婚や出産、子育ての希望がかなえられるまちづくりを進める必要がある。また、若者や女性が住み続けたい、帰ってきたいと思えるよう、進学と仕事の選択肢の充実や子育てしやすい環境づくり、都市のにぎわい創出などに取り組むと同時に、人口規模が縮小しても安心して暮らせる生活環境や活力ある地域経済を維持していくため、コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりを進めていく。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標達成を図る。

- ・基本目標 1 こども・若者への支援
- ・基本目標 2 地域経済の活性化
- ・基本目標 3 都市基盤整備
- ・基本目標 4 医療・福祉の充実
- ・基本目標 5 ばらのまちづくり・文化・スポーツの振興
- ・基本目標 6 地域社会の活性化
- ・基本目標 7 安心・安全のまちづくり

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	希望出生率と合計特殊出生率の差	希望出生率1 .80 合計特殊出生率1.46 差0.34	縮小	基本目標 1
	社会全体で「男女の地位	11.8%	25.0%	

	が平等となっている」と 思う人の割合			
	「この地域で子育てしたい」と 思う親の割合	93.3%	96.0%	
	「自分の将来について明るい 希望がある」と思う こどもの割合	86.2%	95.0%	
	学力調査正答率40%未満 の児童生徒の割合（全国 平均との差）	小学校国語 △0.1ポイント （福山市 11.9%、 全国12.0%） 小学校算数 2.2ポイント （福山市 28.5%、全国 26.3%） 中学校国語 3.9ポイント （福山市 26.4%、全国 22.5%） 中学校数学 4.6ポイント （福山市 44.2%、全国 39.6%）	全国平均との 差 全教科0.0ポ イント以下を 維持	
	福山市立大学入学者のう	25.4%	増加	

	ち福山市出身者の割合			
	福山夢・未来開花プロジェクトの応募件数	265件	500件	
イ	市内企業の従業員定着率	71.4%	76.4%	基本目標 2
	事業従業者 1 人当たり純付加価値額	438万円 (広島県480万円)	広島県と同水準	
	誘致企業指定件数(累計)	34件	45件	
	担い手への農地集積面積	246.2ha	395.0ha	
	総観光客数	5,556千人	7,850千人	
ウ	福山駅周辺のウォークアブルエリア内の歩行空間の割合	約57%	約67%	基本目標 3
	地域の拠点づくりにおける意見交換会などへの参加者数	539人	増加	
	地域公共交通(バス)の利用者数	3,702千人	4,420千人	
エ	医師偏在指標(小児科医師・分娩取扱医師)	全国下位1/3	全国下位1/3からの脱却	基本目標 4
	健康寿命	男性80.11年 女性85.00年	男性80.48年 女性85.32年	
	障がい者就労者数	4,225人	5,000人	
	国民健康保険税の現年分収納率	93.75%	94.29%	
オ	街中に咲き誇るばらを誇りに思う市民の割合	29.5%	65.5%	基本目標 5
	市の芸術文化施設・郷土歴史施設の延べ利用者数	580千人	629千人	

	市のスポーツ施設の延べ利用者数	1,006千人	1,250千人	
カ	地域の活動に参加している市民の割合	62.8%	65.0%	基本目標 6
	生活で困ったことがないと回答した外国人の割合	41.9%	65.0%	
	温室効果ガス排出量	27,520千t-CO ₂	17,298千t-CO ₂	
	危険空家等是正件数（累計）	1,302棟	2,200棟	
キ	3日分以上の食糧及び飲料水を備蓄している人の割合	40.5%	70.0%	基本目標 7
	基幹管路の耐震適合率	78.2%	81.8%	
	#7119の人口10万人当たりの問合せ件数	1,360件	3,320件	
	刑法犯罪認知件数	2,689件	2,200件	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期福山市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア こども・若者への支援事業

イ 地域経済の活性化事業

- ウ 都市基盤整備事業
- エ 医療・福祉の充実事業
- オ ばらのまちづくり・文化・スポーツの振興事業
- カ 地域社会の活性化事業
- キ 安心・安全のまちづくり事業

② 事業の内容

ア こども・若者への支援事業

出会いと結婚の後押し、妊娠・出産への不安の軽減、ジェンダーギャップの解消とアンコンシャス・バイアスの変革、ネウボラセンターを中心とした子育て支援、こどものウェルビーイングの向上、全てのこどもたちが成長を実感できる学校教育の推進、子ども未来案構想の推進、魅力ある高等教育の提供、若者のチャレンジ応援を柱として、こども・若者への支援の充実を実現する事業。

【具体的な事業】

- ・多様な出会いの場の提供
- ・妊娠や出産に向けた支援の充実
- ・ジェンダーギャップの解消と固定的な性別観に関するアンコンシャス・バイアスの変革
- ・妊娠・出産・子育てに関する切れ目のない支援の充実
- ・困難を抱えるこども・若者への支援
- ・確かな学力と豊かな心の育成
- ・（仮称）子ども未来館の整備
- ・福山市立大学情報工学部の開設
- ・若者の夢の実現を後押しするまちづくり 等

イ 地域経済の活性化事業

グリーンな企業プラットフォームの充実、企業の稼ぐ力の向上、新たな産業の創出、経済活動を支える基盤整備、農林水産業の振興、戦略的な観光振興とMICEの推進を柱として、地域経済の活性化を実現する事業。

【具体的な事業】

- ・働き方改革の推進
- ・企業の経営力強化
- ・企業誘致の促進や起業・創業支援
- ・慢性的な渋滞の解消
- ・農林水産業の稼ぐ力の向上
- ・観光資源の発掘・磨き上げ 等

ウ 都市基盤整備事業

福山駅周辺のにぎわい再生、全世代交流型エリアの創造、地域の拠点づくり、地域公共交通の充実、市民生活と経済活動を支える基盤整備を柱として、都市基盤整備を実現する事業。

【具体的な事業】

- ・福山駅前広場の再整備
- ・多様な世代のニーズに応える魅力ある施設の整備
- ・“地域の拠点づくり”の本格始動
- ・路線バスの維持
- ・慢性的な渋滞の解消 等

エ 医療・福祉の充実事業

医療提供体制の確保、高齢者の健やかな暮らしの確保、障がいのある人の安心な生活と自立支援、セーフティネットの充実を柱に、医療・福祉の充実を実現する事業。

【具体的な事業】

- ・福山市民病院の機能強化
- ・健康寿命の延伸
- ・障がいのある人のライフステージに応じた支援
- ・保険制度の健全な運営 等

オ ばらのまちづくり・文化・スポーツの振興事業

世界バラ会議を契機とした新たなばらのまちづくり、歴史・文化の薫るまちづくり、スポーツの振興を柱として、ばらのまちづくり・文化・スポーツの振興を実現する事業。

【具体的な事業】

- ・世界バラ会議福山大会レガシーの発展
- ・歴史・文化資源の保存と活用
- ・スポーツ機会の充実 等

カ 地域社会の活性化事業

持続可能な地域コミュニティの形成、多様性社会の推進、環境に配慮したまちづくり、快適な生活環境の整備を柱として、地域社会の活性化を実現する事業。

【具体的な事業】

- ・まちづくりネットを中心とした新たなコミュニティづくり
- ・人権教育・人権啓発の推進
- ・脱炭素社会の構築（気候変動対策）
- ・良質な住環境の確保 等

キ 安心・安全のまちづくり事業

防災・減災の推進、上下水道施設の整備、消防・救急体制の強化、防犯・交通安全対策の推進を柱として、安心・安全のまちづくりを実現する事業。

【具体的な事業】

- ・強靱なインフラ整備
- ・上下水道施設の老朽化対策・災害対策の強化
- ・消防対応力の強化
- ・防犯対策の消費者トラブルの未然防止 等

※1 なお、詳細は「福山みらい創造ビジョン」のとおり

※4 ただし、「鞆の歴史・文化を未来へ繋ぐまちづくり事業～「鞆・一口町方衆」応援プロジェクト～」の5-2-⑥に掲げる法第5条第4項第2号に関する事業の事業実施期間中は、同②に位置付けられる事業を除く。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

7,400,000千円（2026年度～2030年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度7月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後、速やかに福山市ホームページで公表する。

⑥ 事業実施期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで

6 計画期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで